


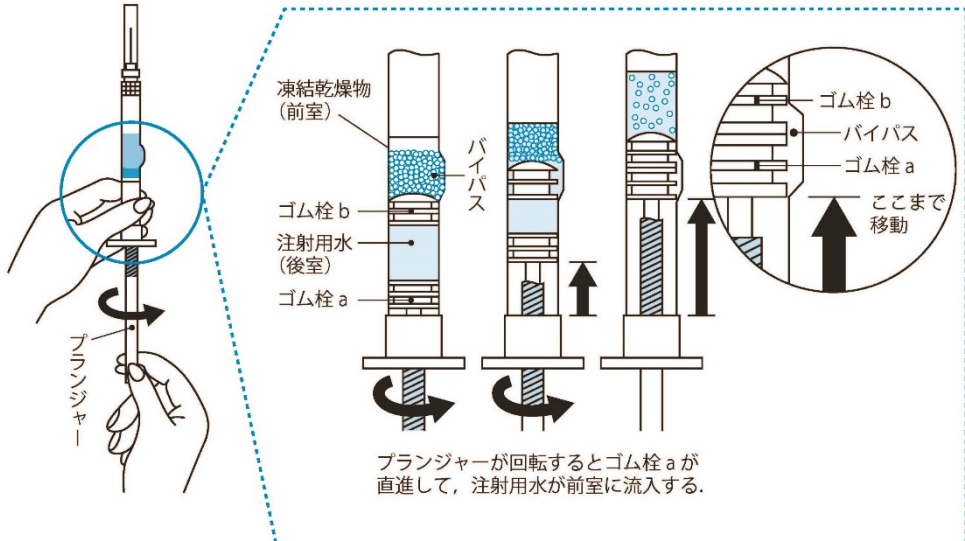


正 誤 表

「臨床製剤学（改訂第5版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	行, 箇所	誤	正
12	下から4行目	$90^\circ < \theta \leq 180^\circ$	$\theta < 180^\circ$
138	冒頭の表	左から2列目, 試験法などの項目, 「注射剤の不溶性微粒子試験法」の下に 下記の試験法を追加 「タンパク質医薬品注射剤の不溶性微粒子試験法」	
143	表4-5	6.07 注射剤の不溶性微粒子試験法の下に, 下記試験法(項目および概要)を追記 項目: 6.17 タンパク質医薬品注射剤の不溶性微粒子試験法 概要: タンパク質医薬品注射剤(有効成分がペプチド, タンパク質あるいはそれらを修飾して得られる誘導体)中の外来性の物質, 製造工程に由来する物質およびタンパク質の凝集体等の数を試験する方法で, 注射剤不溶性微粒子試験法の第1法光遮蔽粒子計数法を用いる	
227	表15-1, 5) 無菌試験法	注射剤, 点眼剤, 眼軟膏剤	注射剤, 点眼剤, 眼軟膏剤, 腹膜透析用剤
252	下から4行目	ナンバー (No.1)	ナンバー (No.)
293	ハーセプチン®注射用(トラスツズマブ), 解説文の1~2行目	細胞表面のヒト上皮増殖因子受容体2型(HER2)を標的とするモノクローナル抗体であり, 可変部領域がマウス由来, 定常部領域がヒト由来のマウス-ヒトキメラ型抗体である.	細胞表面のヒト上皮増殖因子受容体2型(HER2)を標的とするヒト化モノクローナル抗体である.
374	図5-5	図差し替え (a) アドレナリン注 0.1% シリンジ「テルモ」(1 mL)   [テルモ(株)より] (b) オムニパーク 300 注シリンジ 100 mL  [GEヘルスケアファーマより] (c) KCL注 20 mEq キット「テルモ」   [テルモ(株)より] (d) ビタジェクト注キット   [テルモ(株)より]	

375	図5-6	<p>図差し替え</p> 	
375	下から 7 行目	(図 5-7b,c)	(図 5-7c)
375	下から 6 行目	教職員、保育士、救急救命士による使用が可能である。	患者とその家族に加えて、教職員、保育士、救急救命士による使用が可能である。
406	右段、下から 16行目	$=69720 \times 10^4 \text{ J/mol}$ となる。	$=6.9720 \times 10^4 \text{ J/mol}$ となる。
407	左段、問2と問4の解答解説	<p>II 医薬品の開発と品質・安全性の確保 練習問題</p> <p>問2の解答解説は問4の解答解説の記述と、問4の解答解説は問2の解答解説の記述と、それぞれ入れ替える。</p>	